

第IV部門

京都市東山区を訪れる観光客の交通行動に関する研究

立命館大学理工学部 学生員 ○乾 晶彦
立命館大学理工学部 正会員 小川 圭一
立命館大学理工学部 フェロー会員 塚口 博司

1. 研究の背景と目的

京都市は国内でも特に多くの文化遺産を擁することから、日本を代表する観光地として知られる都市である。『京都市観光調査年報』によれば、京都市が2000年度に観光客5000万人構想を打ち出して以来、観光客数は増加し続けており、現在では年間のべ5000万人弱の観光客が京都市に訪れている。

しかし、その一方で、南海地震は発生期に入っており、近い将来に関西圏で大地震が起こる可能性も危惧されるため、京都市を訪れる観光客の交通行動を視野に入れた防災計画が必要である。

よって、本研究では著名な観光スポットが多数存在する東山区において実施したアンケート調査から、東山区を訪れる観光客の交通行動（観光スポットの訪問状況や各観光スポットでの発着時間・滞在時間など）について実態把握する事を目的とする。

2. アンケート調査の概要

東山区を訪れる観光客に対して、アンケート調査を行った。概要は以下の通りである。

【調査日時】2008年11月29日(土)・30日(日)、12月6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)

【調査方法】アンケート調査票が同封された封筒の直接配布を行い、後日郵送により回収した。

【配布部数】4832部

【回収部数】931部（：回収率19.3%）

【配布場所】以下に示す9箇所の周辺部。

①円山公園②花見小路③東山安井バス停④清水坂バス停⑤五条坂バス停⑥五条京阪バス停⑦三十三間堂前⑧泉涌寺バス停⑨東福寺バス停

3. 調査内容

調査内容は以下の通りである。

- ①旅行形態：旅行の出発地、京都市への観光頻度、利用交通機関、宿泊日数、旅行人数、旅行費用
- ②交通行動：東山区を主に観光した1日の旅程と移動経路、今回の旅行で訪問した全ての観光スポット
- ③属性：性別、年齢層、職業
- ④その他：東山区の避難場所を知っているか、宿泊した地域

これらの項目について設問を作成し、それぞれ集計を行った。また、設問によっては、クロス集計を行い、旅行の出発地や属性の違いから現れる傾向を明らかにした。

4. 東山区における休日の観光客の交通行動分析

アンケート調査結果から、東山区を訪れる観光客の交通行動に着目した分析を行った。（なお、サンプルの条件を合わせるため、分析対象は休日の交通行動に限定した。）

1日の訪問観光スポット数

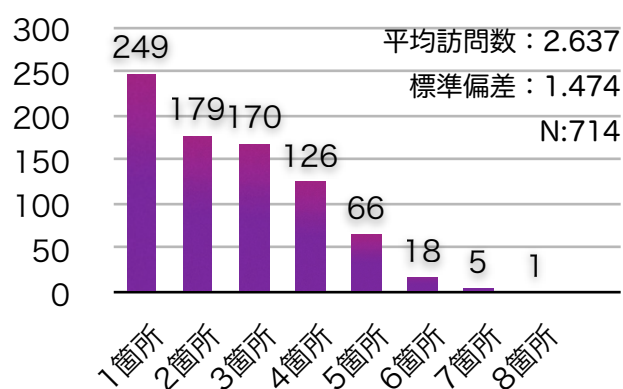


図1：1日に訪問した東山区内の観光スポット数

1日の訪問観光スポット数は図1のようになった。（この観光スポットとは、東山区内の主要観光スポットである知恩院・円山公園・八坂神社・高台寺・清水寺・祇園・京都国立博物館・三十三間堂・東福寺・泉涌寺・大谷本廟・南座の12箇所。）

また、訪問箇所数別に各観光スポットへの訪問状況を集計し、訪問箇所数が多い観光客ほど、五条通以北に位置する観光スポットのみを訪問する傾向が強いことを明らかにした。

駅や観光スポット間のトリップ数と移動経路

各観光スポットや近隣の駅間のトリップ数の集計を行った（次ページの表1）。その結果、東福寺や三十三間堂のような五条通以南の観光スポットから五条通以北の観光スポットへの移動は行われているが、五条通以南の観光スポットへの移動は、多くが同じ五条通以南の観光スポットから行われていることを明らかにした。

表1：主要観光スポット間の発着トリップ数

	清水寺	高台寺	円山公園	八坂神社	知恩院	祇園	東福寺	泉涌寺	大谷本廟	三十三間堂	京都国立博物館	南座	発生トリップ
清水寺		130	25	42	10	23	11	4	6	13	0	2	266
高台寺	65		58	60	8	21	4	0	1	4	1	0	222
円山公園	15	42		46	67	12	0	0	1	1	1	0	185
八坂神社	18	29	85		17	33	2	0	1	2	0	8	195
知恩院	6	12	39	12		15	2	0	0	1	0	1	88
祇園	14	20	1	34	9		5	0	0	3	0	5	91
東福寺	65	15	1	10	3	15		31	1	15	1	0	157
泉涌寺	6	1	0	3	0	1	5		0	2	0	0	18
大谷本廟	7	1	0	3	1	1	0	0		0	0	0	13
三十三間堂	19	0	0	3	0	5	6	0	0		10	0	43
京都国立博物館	3	0	0	2	0	3	1	0	0	5		0	14
南座	2	1	1	5	0	6	0	0	0	0	0		15
集中トリップ	220	251	210	220	115	135	36	35	10	46	13	16	1307

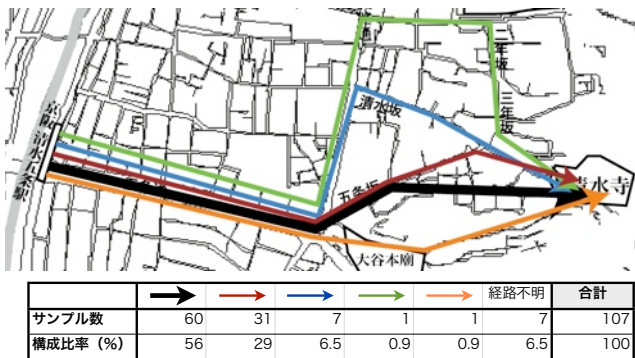


図2：清水五条駅から清水寺への移動経路

また、一定数以上のサンプルが採れた区間では、移動経路の種類とそれぞれが占める割合を求めた。例えば図2に示した区間では、80%以上の観光客が五条坂を経由していることが分かる。

各観光スポットの滞在時間・発着時間

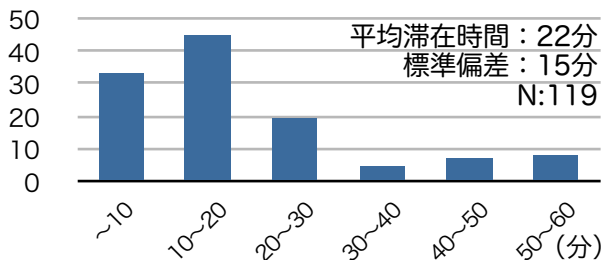


図3-1：円山公園の滞在時間

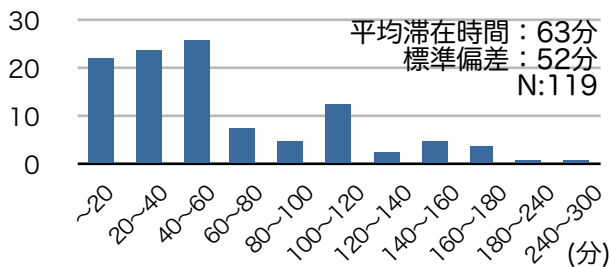


図3-2：祇園の滞在時間

各観光スポットの滞在時間と発着時間の分布をそれぞれ求めた。滞在時間に関しては、円山公園や八坂神社のように30分までの滞在が大半を占める観光スポットと、祇園や東福寺のように幅広い分布をする観光スポットがあることを明らかにした。

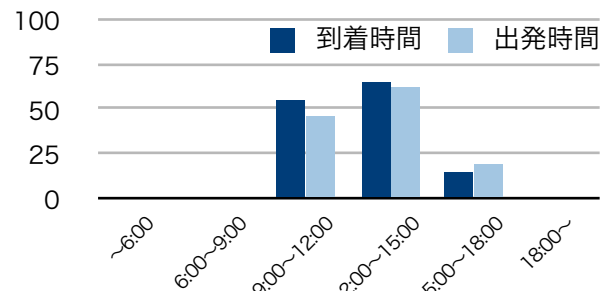


図4-1：円山公園の発着時間

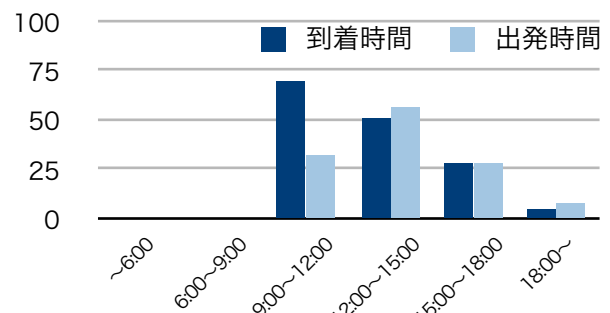


図4-2：祇園の発着時間

次に各観光スポットの発着時間に関しては、殆どの観光スポットで9:00～15:00の間に主たる観光が行われていること、また、祇園・八坂神社・高台寺は他の観光スポットと異なり、15:00以降に訪問される割合が比較的高い観光スポットであることなどを明らかにした。

6. 終わりに

本研究では京都市東山区を訪れる観光客の交通行動について、幾つかの点から実態把握を行った。観光客の交通行動を視野に入れた防災計画を行うための、今後の検討課題を以下に示す。

- ・継続して観光客の交通行動分析を行う。
(訪問観光スポット数と総滞在時間の関係や観光スポットの訪問順序など)
- ・東山区各地域を訪れる観光客数の推計を行い、時間帯別の観光客数や経路別の交通量を推計する。